

日本カリキュラム学会主催 「秋のセミナー2019」のご案内

新指導要録と学習評価を考える

日本カリキュラム学会代表理事：松下佳代
広報・若手育成委員会委員長：村川雅弘

主旨

「資質・能力の3つの柱」「学習の基盤」「主体的・対話的で深い学び」「社会に開かれた教育課程」「カリキュラム・マネジメント」など、中軸となるキーワードを持つ新学習指導要領が、2020年4月より小学校で完全実施され、その後、中学校や高等学校等でも実施されていく。それに伴い児童・生徒の学籍並びに指導の過程及び結果の要約を記録し、その後の指導及び外部に対する証明等に役立たせるための原簿となる指導要録についてもその特徴や役割が変わってくると考えられる。

本セミナーでは、本年3月の文部科学省通知「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」の検討を行うと共に、学習評価・教育評価の視点から、俯瞰的、体系的に、新学習指導要領の下で行われていく教育実践について、論議していく。

1. 開催日時：2019年11月17日(日) 14時～17時(受付13時30分～)

2. 開催場所：お茶の水女子大学・共通講義棟2号館102室(㊸の建物、正門からお入り下さい)

<http://www.ocha.ac.jp/access/ochacampusmap.html>

* 事前登録の場合でも、入構時チェックを受けますので本チラシと身分証(社員証、免許証、保険証といった本人の名前が確認できるものであれば可)を必ず持参してください。

3. 参加費：無料

(以下URLまたは右下のQRコードを用いて事前申し込みにご協力願います。事前登録の締切は11月10日です。当日参加も可能ですが、事前登録の方が、入構がスムーズです。できる限り事前登録をお願いします。)

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc8Swyrmmpc6oicS7eGBaAgxtprgEaBoQxdxY1ngBwE_DaBnmw/viewform?vc=0&c=0&w=1&usp=mail_form_link

当日参加の場合には本チラシをプリントアウトの上、必ず持参してください。



4. 登壇者

企画趣旨説明 広報・若手育成委員会委員長：村川雅弘(甲南女子大学)

司会 小柳和喜雄(奈良教育大学)、柴田好章(名古屋大学)

石井英真(京都大学)：新指導要録の特徴と課題

安藤輝次(関西大学)：形成的アセスメントの考え方と進め方

市川伸一(東京大学)：観点別評価と学習の自己調整

※詳細は学会HPをご確認下さい。日本カリキュラム学会の社会貢献的行事として、学会員にかかわらず、全ての学校関係者及び教職を目指す学生・院生、報道機関関係者、研究者に公開しています。お誘い合わせの上、奮ってご参加願います。